

請負工事成績評定の受注者自己評価

平成 27 年度実施工事の結果について

1 受注者自己評価の目的

受注者が自ら施工した工事に対して、成績評定による評価を実施することで、成績評定の理解向上が図られ、成績向上のための取組が共通仕様書や契約図書に基づく施工プロセスの確実な実施に繋がり、その結果、公共工事のより一層の品質確保が図られることを目的として実施しています。

2 自己評価対象工事

- 土木工事・営繕工事（建築・電気・機械）
- 設計金額 500 万円以上のすべての工事

・自己評価の実施者は受注者の現場代理人（工事現場の総括責任者）

3 自己評価評定項目

受注者による自己評価の評定項目は、下記の「請負工事成績採点表」のうち㉠と㉡が対象です。

㉠・・・工事主任の考査項目の9項目の全てが対象

㉡・・・工事主任の上司の考査項目の4項目のうち2項目が対象

総合評定点は、工事主任①の40%+工事主任の上司②の20%+検査員③の40%の合計

様式1号（共通）

請 負 工 事 成 績 採 点 表

工事番号	() 第 号	工 種	工事内容		契約金額（最終）		契約工期		平成											
工事名											検査員（ ）									
請負者名											氏名									
考 査 項 目		工 事 主 任					工 事 主 任 の 上 司					検 査 員								
		氏名					氏名					氏名								
考査項目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10														
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10														
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10								+5.0		+2.5		0	-7.5	-15
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10	+2.0		+1.0		0	-7.5	-15							
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10	+3.0		+1.5		0	-7.5	-15							
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0														
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0								+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0								+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25
	III. 出来ばえ													+5.0		+2.5		0	-5	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応 ※2						+ (20.0)													
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3	(7.0)					㉡													
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0									
加減点合計（1+2+3+4+5+6）		± . 点					± . 点					± . 点								
評定点（65点±加減点合計） ※1		①	㉠	. 点			②	㉡	. 点			③	㉢	. 点						

4 対象件数と実施件数

■対象件数と実施件数(実施方法変更前)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	対象件数	実施件数	対象件数	実施件数	対象件数	実施件数
土木	212	137	214	95	217	92
営繕	90	41	88	29	131	37
全体	302	178	302	124	348	129

■対象件数と実施件数(実施方法変更後)

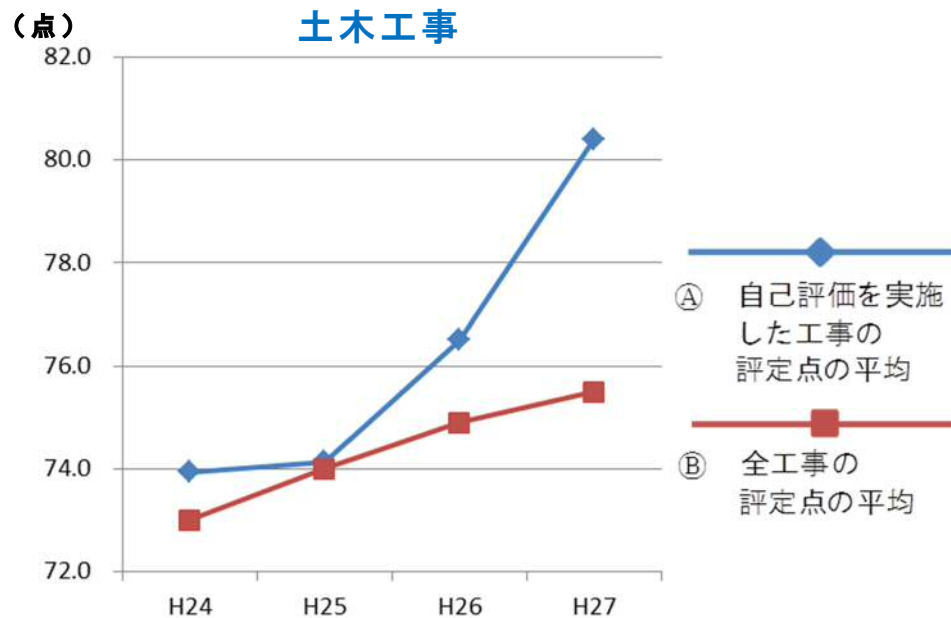
	平成27年度	
	対象件数	実施件数
土木	734	7
営繕	442	3
全体	1176	10

平成24年度から平成26年度までは、札幌市が対象工事を指定し自己評価を希望する工事について実施していたが、平成27年度からは、すべての工事を対象に希望する受注者が自己評価を実施できるよう制度を変更した。

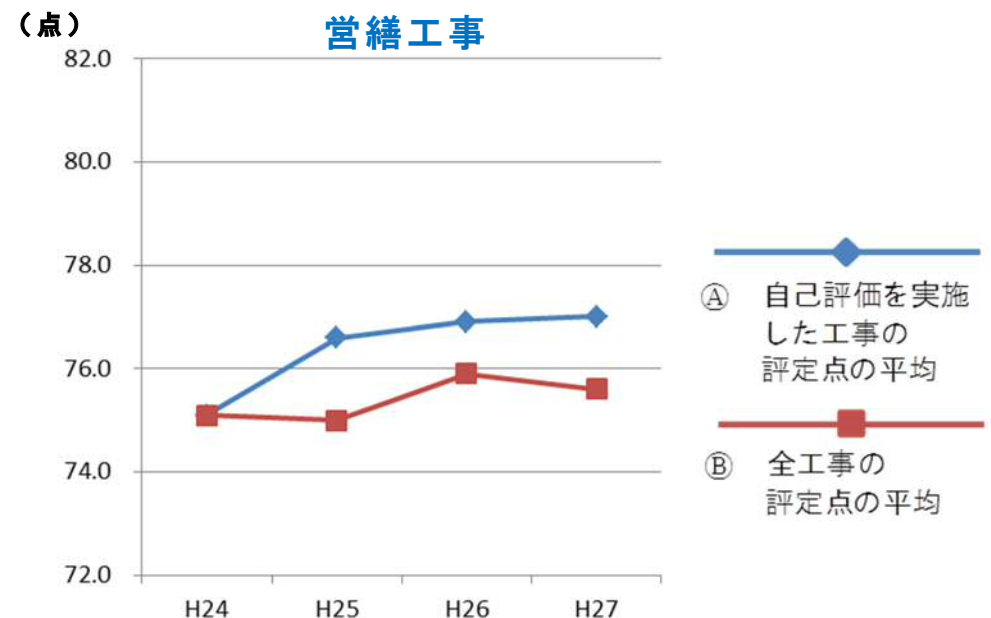
平成27年度の実施件数は土木工事7件、営繕工事3件の計10件であった。

5 自己評価の結果

(1) 受注者自己評価を実施した工事の評定点（札幌市の評定点）の分析



土木工事	H24	H25	H26	H27	平均
Ⓐ 自己評価を実施した工事の評定点の平均	73.9	74.1	76.5	80.4	76.2
Ⓑ 全工事の評定点の平均	73.0	74.0	74.9	75.5	74.4
差 (Ⓐ-Ⓑ)	0.9	0.1	1.6	4.9	1.8



営繕工事	H24	H25	H26	H27	平均
Ⓐ 自己評価を実施した工事の評定点の平均	75.1	76.6	76.9	77.0	76.5
Ⓑ 全工事の評定点の平均	75.1	75.0	75.9	75.6	75.4
差 (Ⓐ-Ⓑ)	0.0	1.6	1.0	1.4	1.1

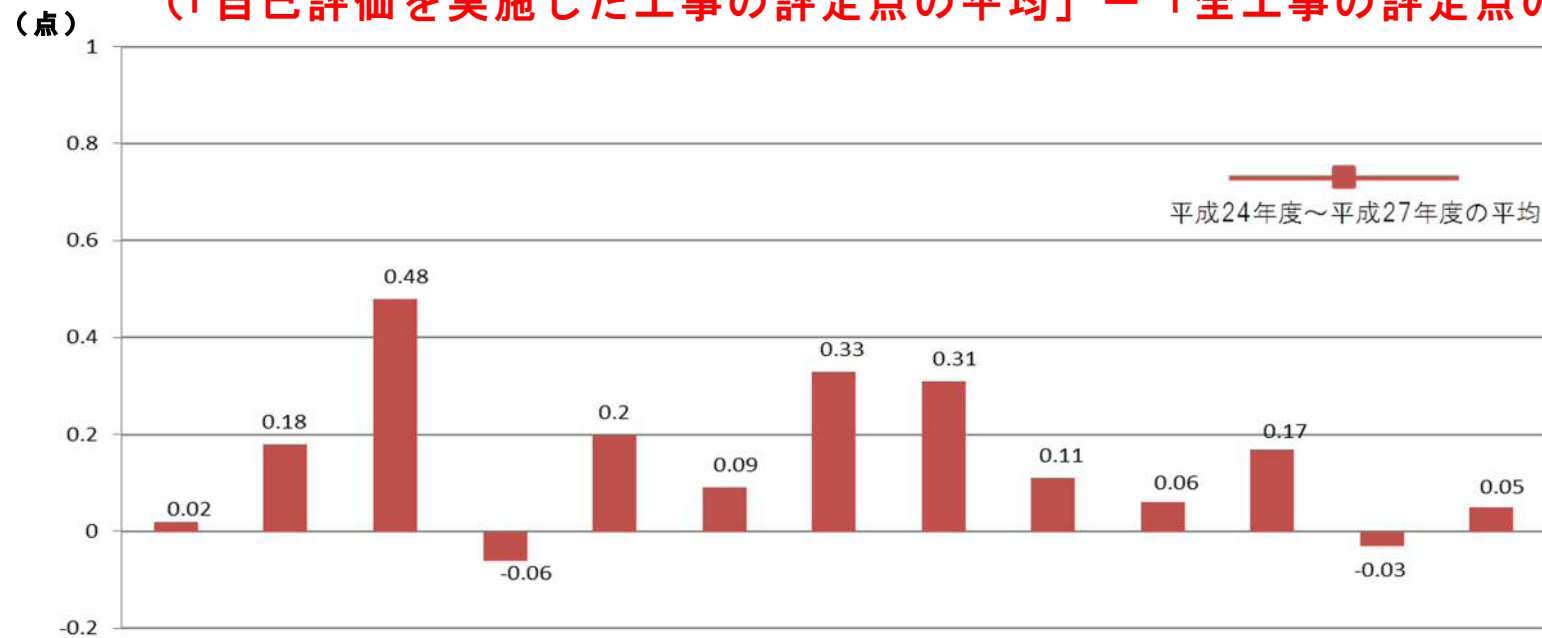
受注者自己評価を実施した工事の評定点の平均は、土木工事、営繕工事ともに、全工事の評定点の平均より高い傾向がみられた。これは、自己評価を実施した受注者が、成績評定を理解し工事を進めることにより、品質、工程、安全等の適正な管理が行われたためであると考えられる。

次項では、考査項目のうち、どの項目で高い評定を得られているか検証を行う。

5 自己評価の結果

(2) -1 土木工事における各考査項目別の評定点（札幌市の評定点）の比較

（「自己評価を実施した工事の評定点の平均」－「全工事の評定点の平均」）



各考査項目 年度	施工体制一般	配置技術者	施工管理	工程管理	安全対策	対外関係	出来高	品質	創意工夫	工事特性	地域貢献	法令遵守	出来ばえ	総計
H24	0.00	0.04	0.36	-0.04	0.02	0.08	0.12	0.12	0.04	0.08	0.14	-0.07	0.00	0.89
H25	0.00	0.00	0.16	-0.10	0.02	0.04	0.04	0.08	0.04	-0.06	0.00	-0.03	0.00	0.19
H26	0.08	0.16	0.40	-0.02	0.24	0.04	0.24	0.36	0.08	0.02	0.12	0.00	0.08	1.80
H27	0.00	0.52	1.00	-0.06	0.50	0.20	0.92	0.68	0.28	0.20	0.40	0.00	0.12	4.76
平均	0.02	0.18	0.48	-0.06	0.2	0.09	0.33	0.31	0.11	0.06	0.17	-0.03	0.05	1.91

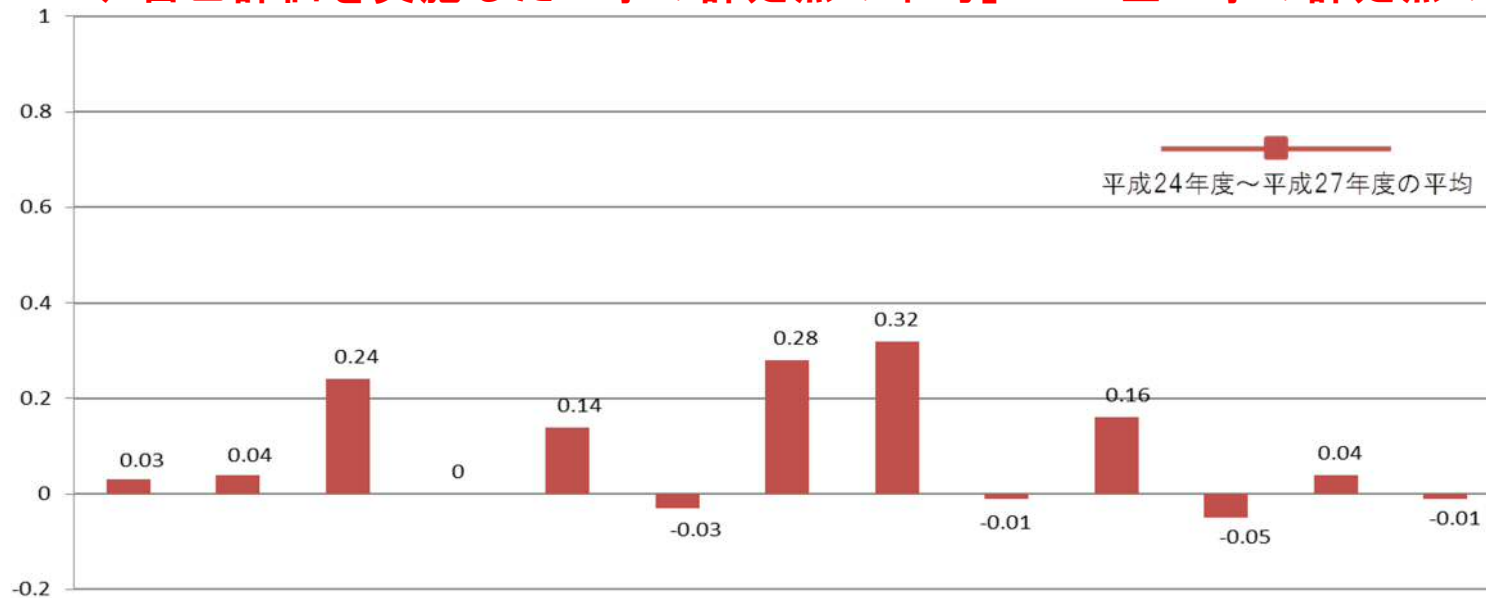
受注者自己評価を実施した土木工事の平均は、本制度の目的である「公共工事のより一層の品質確保」に関連する考査項目の「施工管理」、「出来形」、「品質」の評定が高くなっている。

成績評定の理解が進むことにより、各段階で必要な施工管理が適切に行われ、出来形、品質が良好であったことを示している。

5 自己評価の結果

(2) - 2 営繕工事における各考査項目別の評定点（札幌市の評定点）の比較

(点) 「自己評価を実施した工事の評定点の平均」 - 「全工事の評定点の平均」



各考査項目 年度	施工体制一般	配置技術者	施工管理	工程管理	安全対策	対外関係	出来高	品質	創意工夫	工事特性	地域貢献	法令遵守	出来ばえ	総計
H24	0.04	-0.01	-0.10	0.02	0.04	0.04	0.01	0.16	-0.06	-0.02	-0.06	0.07	0.14	0.27
H25	0.02	0.06	0.28	0.08	0.13	0.04	0.43	0.54	-0.05	0.15	-0.02	0.03	-0.03	1.66
H26	0.03	0.03	0.02	-0.07	0.10	-0.04	0.25	0.31	0.03	0.30	-0.02	0.05	0.02	1.01
H27	0.01	0.06	0.76	-0.04	0.27	-0.15	0.44	0.25	0.03	0.20	-0.08	0.01	-0.17	1.59
平均	0.03	0.04	0.24	0	0.14	-0.03	0.28	0.32	-0.01	0.16	-0.05	0.04	-0.01	1.13

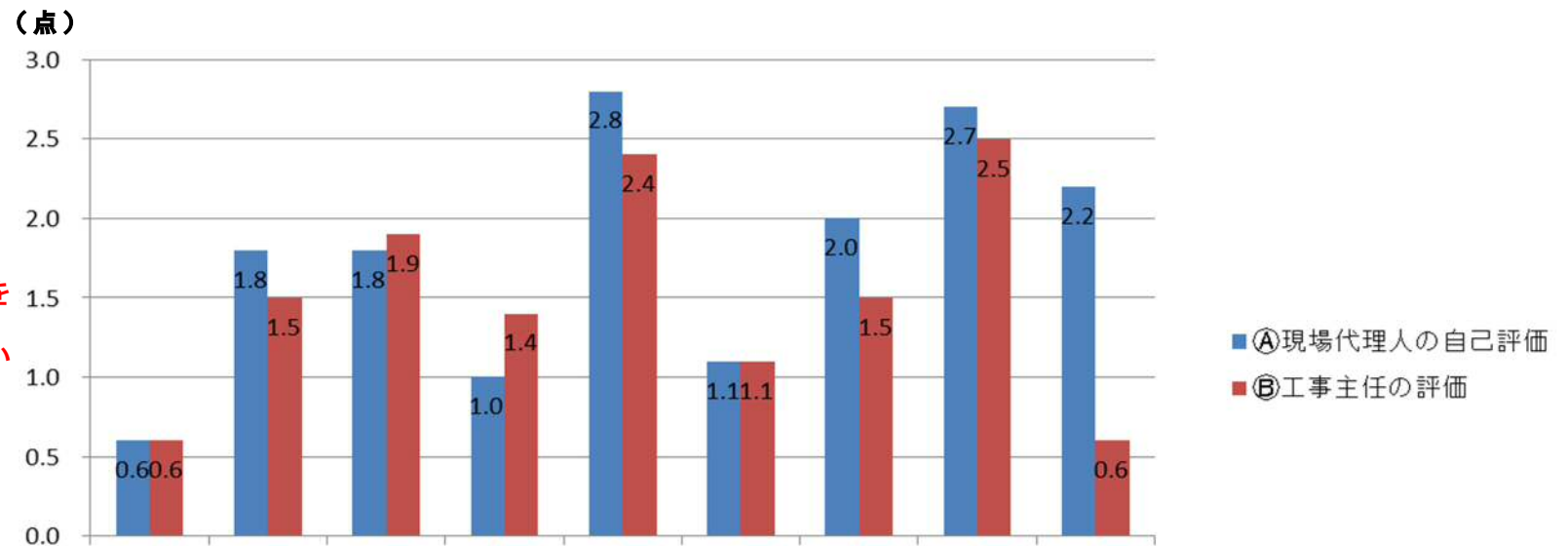
受注者自己評価を実施した営繕工事の平均は、土木工事と同様、本制度の目的である「公共工事のより一層の品質確保」に関連する考査項目の「施工管理」、「出来形」、「品質」の評定点が高くなっている。

成績評定の理解が進むことにより、各段階で必要な施工管理が適切に行われ、出来形、品質が良好であったことを示している。

5 自己評価の結果

(3) - 1 受注者の自己評価の評定点と工事主任の評定点の各考査項目別の比較（土木）

※各考査項目別の評定点は、請負工事成績表のc(0点)を基準とした加点を表している。



工事主任の各考査項目	施工体制	配置技術者	施工管理	工程管理	安全対策	対外関係	出来形	品質	創意工夫	計
①現場代理人の自己評価	0.6	1.8	1.8	1.0	2.8	1.1	2.0	2.7	2.2	16.0
②工事主任の評価	0.6	1.5	1.9	1.4	2.4	1.1	1.5	2.5	0.6	13.5
差 (①-②)	0.0	0.3	-0.1	-0.4	0.4	0.0	0.5	0.2	1.6	2.5

上記表とグラフは、平成 24 年度から 27 年度に受注者自己評価を実施した土木工事で、現場代理人の自己評価と、工事主任の評定点の乖離を考査項目ごとに算出し、平均したものである。

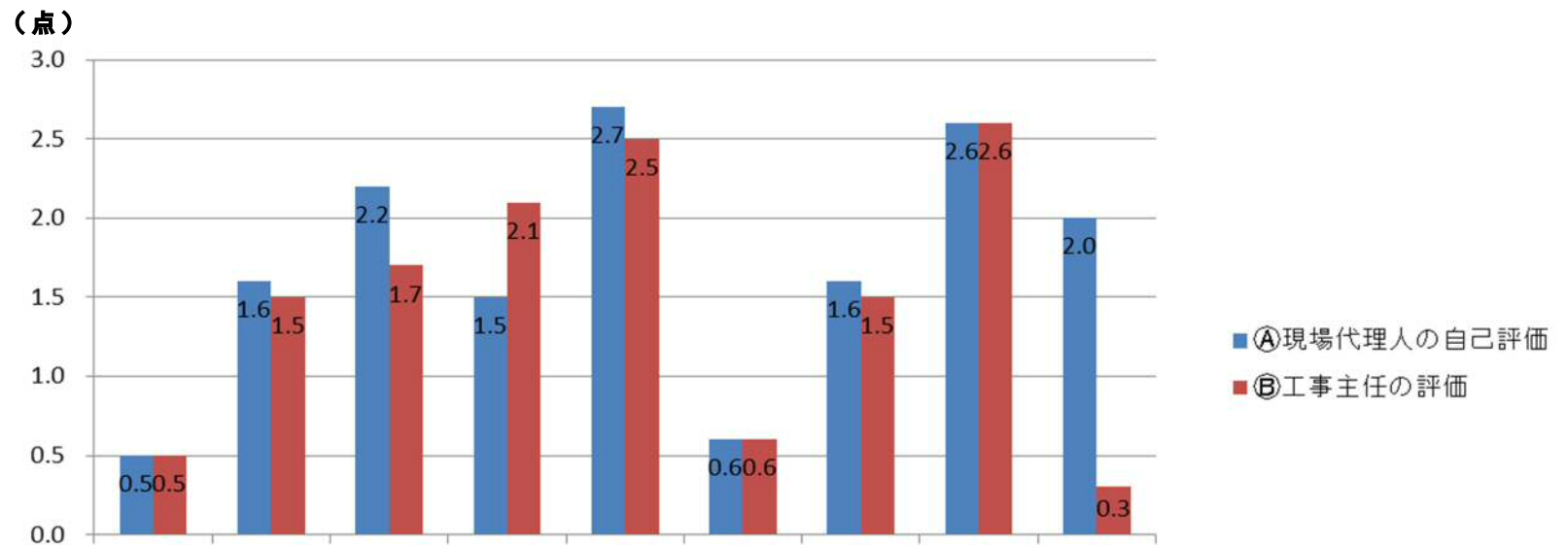
差は合計で 2.5 点あり、考査項目別では、創意工夫が 1.6 点と乖離が大きかった。

考査項目のうち、配点が多い「施工管理」「出来形」「品質」はそれぞれ-0.1点、0.5点、0.2点であり、大きな差は見られなかった。

5 自己評価の結果

(3) - 2 受注者の自己評価の評定点と工事主任の評定点の各考査項目別の比較（営繕）

※各考査項目別の評定点は、請負工事成績表のc(0点)を基準とした加点を表している。



工事主任の各考査項目	施工体制	配置技術者	施工管理	工程管理	安全対策	対外関係	出来形	品質	創意工夫	計
①現場代理人の自己評価	0.5	1.6	2.2	1.5	2.7	0.6	1.6	2.6	2.0	15.3
②工事主任の評価	0.5	1.5	1.7	2.1	2.5	0.6	1.5	2.6	0.3	13.3
差 (①-②)	0.0	0.1	0.5	-0.6	0.2	0.0	0.1	0.0	1.7	2.0

上記表およびグラフは、平成 24 年度から 27 年度に受注者自己評価を実施した営繕工事で、現場代理人の自己評価と、工事主任の評定点の乖離を考査項目ごとに算出し、平均したものである。

差は合計で 2.0 点あり、考査項目別では、創意工夫が 1.7 点と乖離が大きかった。

考査項目のうち、配点大きい「施工管理」「出来形」「品質」はそれぞれ 0.5 点、0.1 点、乖離なしであり、大きな差は見られなかった。

6. まとめ

今年度は、平成 24 年度から平成 27 年度までの 4 年間の結果を考察したところ、次の傾向が見られました。

① 札幌市の評定の平均点を比較した結果、自己評価を行った工事の評定平均は、全工事の評定平均より高かった。

またその要因は、「施工管理」「出来形」「品質」の考査項目の評定が高いためであった。

② 自己評価の評定点（現場代理人が採点した点数）と、工事主任の評定点との差は、土木工事で 2.5 点、営繕工事で 2.0 点であるが、そのうち創意工夫での差が土木工事で 1.6 点、営繕工事で 1.7 点と大きな割合を占めていた。

①につきましては、自己評価を実施した受注者の皆様が、成績評定への理解を深めたことにより、各段階で必要な施工管理が適切に行われ、出来形、品質が良好であったことを示していると考えられます。

また②につきましては、点数の乖離は創意工夫が大半を占めており、施工管理や出来形、品質では大きな差は見られない結果となっております。

創意工夫については、評価の考え方を工事管理室ホームページに掲載しておりますのでご確認下さい。

http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/kantoku/documents/souikufu_hyoka_220401.pdf (土木)

<http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/kantoku/documents/soikufu.pdf> (営繕)

受注者の皆様におかれましては、今年度も引き続き、受注者自己評価制度の活用、並びに公共工事の品質確保についてご協力いただきますようお願いいたします。

